

こうとう民報

2013年 9月号 107

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



2005・11・9～2013・9・9

「今こそ、憲法を守る政治を！」

呼びかけ続けて100回

記念講演する森研さん（元朝日新聞記者）

区議会第3回定例会が9月26日から始まっています。共産党区議団は、都議選・参議院選の公約の実現目指し、安倍内閣がすすめる消費税増税や年金・介護・医療の改悪にストップをかけるために、区長に対しては区民の立場で政府に意見を上げることを求め、区としても雇用や介護、保育施策の拡充を求める論戦を行っています。



生活保護基準の引き下げや制度改悪は、一連の社会保障改悪に先立って進められていく予定です。今でも大変厳しい保護受給世帯の生活を追い詰めるのと同時に、保護給額を元に決められていく就学援助や税の課税基準、各種福祉施策の減免基準などの引き下げにつながり、国民の生活水準そのものが

江東区は区民の暮らしを守れ

区議団は生活保護受給世帯の暮らしを守ると同時に、これらの区が行う事業の水準を下げることにないようにの引き下げにつながりません。健康で文化的な最低限の生活は憲法25条で国民にはそれを保障する義務が

生活保護の改悪を止めよう

「9の日宣伝行動100回」を記念し、藤森研さん（元朝日新聞論説委員・専修大学教授）が『憲法との出会いの旅』日本人が学び取った憲法9条をテーマに講演しました。

世界の英知の集大成「要旨」を記念講演で藤森研さんは、北米やヨーロッパでは、対人地雷やクラスター爆弾の禁止条約が広がっていることをあげ、「憲法9条をもつ日本は、アメリカ一極ではなく、こういった国々と協力して『9条』の理想を実現させていく外交こそ重要」と呼びかけました。

また、「常備軍は持たない（必要なときは組織する）」とした憲法を持つ国・コスタリカを例にあげ、「コスタリカは65年間、一度も軍を

組織することなく、近隣国でもめごとが起きれば、積極的に対話による平和交渉を斡旋してきた。武力を使わないことで、他国からの信頼も厚い。

憲法9条は決して理想ではない。これを実現させていく流れが世界にはある」と語りました。



皆勤賞を授与された個人、団体代表のみなさん

「9条を守る江東区政に」自治体の変質を許さず、区民生活を守る役割を果たさざるを得ない。区民生活を守る役割を果たさざるを得ない。区民生活を守る役割を果たさざるを得ない。

「9条を守る」と呼びかけ100回。江東区で憲法9条を守る取り組みとして実行委員会が、2005年11月9日から「9の日宣伝」（駅頭7カ所）と共に、6次にわたる団地署名行動に取り組みできました。

9月8日、辰巳団地で取り組まれた署名行動には、12団体63名が参加しました。今回の署名行動では、407筆の署名が寄せられました。

この間の宣伝行動には、参加者延人数4171名、ピラの枚数では、155、292枚を手渡ししています。参加者からは、駅頭や訪問で、改憲の動きを知らないという人もおり、引き続き宣伝行動に頑張ろうとの感想もいただきました。

学習会に先立ち、初回から宣伝行動に参加された個人・団体に対し、「皆勤賞」の授与式が行われ、4名の個人と6団体が表彰されました。

宣伝行動の経過を報告した中村元さんは「情勢は憲法を守る取り組みがますます重要になっていきます。これからも取り組みを強めていきます」と訴えました。

2005年11月から区民要求実現江東大運動実行委員会主催で「憲法9条を守る100日」に始まり、9月9日に100回を迎えました。9月10日に総合区民センターで100回記念大学学習会を開催し、170名が参加しました。

都教組江東支部 第62次夏季教育研究集会



原水禁大会の報告も行われた平和教育分科会

8月31日、第一大島小で10時から16時まで、8分科会を設定した公開の都教組江東支部教研集会が開催されました。

9月からの新学期にむけた「授業づくり」「学級づくり」から「平和教育」や「明るい退職後の生活」などの分科会に、延80人余の先生方が参加して熱心に学びあい、語り合いました。

潮騒

厳しい残暑が続くなかでも秋の気配が感じられませんが、竜巻や台風の襲来が心配になります。7年後の東京五輪報道が過熱していますが、世界が懸念している放射能汚染水についての安倍首相の発言には唖然としました。2年半もたつて復旧どころか、汚染水の流出に直面している事実が念頭にもないのでしょうか。「フクシマに蓋して五輪掴み取り」（赤旗川柳選者吟）国際問題では、シリア内戦で化学兵器が使用されたのを理由に、軍事介入をするオバマ大統領のよびかけが、盟友イギリスをはじめ国際世論によって拒絶されました。「アメリカの世紀」終焉の兆しとなる画期的な朗報でしょう。国内では消費税増税が焦点になっています。報道によれば五輪招致に沸き立つなかで安倍首相は3%引き上げを決断、しかも、そのうち2%（5兆円）は経済対策（大企業減税や大型公共事業）にあてるといいます。社会保障目的や財政赤字解消の大義名分はどうなのですか。欺瞞に満ちた政治手法による世論に背を向けた増税は絶対に許すことができない暴挙です。江東でも党中央の呼びかけにこたえ、あぜ上事務所、区議団、地区委員会による増税中止の請願署名の大運動が開始されました。くらしの実態に立脚した国民の共同で、政治を動かすこの「民主主義運動」をなんとかして成功させたいものです。

「相撲と江東」



不知火光石衛門

概説

江東の歴史

(25)

大相撲の始まりは、興行収入の一部を寺社に寄付する江戸勤進相撲でした。1624(寛永元年)、明石志賀之助が四谷塩町の笹寺で興行したのが最初との説の真相は不明です。力士の勝敗をめぐる刃傷沙汰(にんじょうざた)や町民への乱暴などで、1648年から幕府は禁止令をだしました。

1684(貞享元年)、雷(いかづち)権太夫が寺社奉行の許可を得た富岡八幡での興行で、30数年ぶりに相撲が復活、毎年の恒例となりました。

黄金時代には天明(1781年)から寛政(1799年)にかけて、谷風(190cm)と小野川(197cm)が対決した富岡八幡の場所で、1789(寛政元年)年に2人へ初めて横綱が免許されました。ついで、天下無双の大関雷電(かみなり)が右衛門もあらわれ、彼らが土俵上で力を競う壮観は江戸市民を熱狂させました。当時は春秋2場所制、晴天8日間の興行、数矢小あたりの2~3階建の小屋に数千人を集めてにぎわいました。

江戸大相撲は、1833(天保4)年から本所回向院に移りますが、150年間の富岡八幡の興行で、縦番付や横綱土俵入りなどの制度がととのい、深川は江戸相撲発祥の地といわれます。富岡八幡境内には1895(明治28)年、巨大な横綱の碑が建てられ、裏面には初代明石志賀之助から69代白鵬翔の名が刻まれています。左右に陣幕、不知火の像や釈迦尊(身長と同じ2.27m)の碑があり、1983年には大関の碑もできました。

深川には、大鵬部屋、北の湖部屋、武蔵川部屋、春日山部屋、押尾川部屋、安治川部屋、友綱部屋があります。また、相撲寺とよばれる万徳院(永代2丁目)には行司や歴史の墓が多いことで知られ、ほかの深川の多くの寺院にも相撲関係の墓や史跡があります。

(注)最近では、富岡八幡で白鵬と日馬富士の土俵入りと刻名の儀が行われています。

再稼働反対! 9.14さようなら原発大集会



スピーチをする落合恵子さん



署名に取り組む「さよなら原発・江東」のブース



9月14日、さようなら原発1千万人署名市民の会主催の「再稼働反対! さようなら原発大集会」が亀戸中央公園で開かれ、9千人が参加しました。

この集会には、さよなら原発・江東のメンバーがブースをだし、原発ゼロを求める署名に取り組みました。10月には、国会請願行動を行う計画です。

福島県郡山市から静岡県に奥さんと子どもとともに避難している男性は「これまで無関心でいたことを悔やんでいます。私たちは、人としての名誉と、子どもたちの未来を絶対に勝ち取らなければなりません。みなさん一緒に頑張らしましょう」と呼びかけました。

1千万人署名の呼びかけ人のひとり、落合恵子さんは「命とお金を比べたときに、お金をわずらわしくみする人たちが、いまこの国を動かしています。オリンピックの影に隠されて何もなかったようにふるまうことは許されません」とスピーチ。

安倍首相が「10月上旬に決める」という消費税増税をめぐる緊迫した情勢のなか消費税をなくす全国の会常任世話人・同東京の会事務局長の林幸二さんが講演しました。

林さんは、日本の消費税の7つの問題点として、景気を冷やす、低所得者ほど負担が大企業と富裕層の優遇税制



講演する林幸二さん

9月7日、消費税廃止江東各界連絡会主催による「消費税増税中止大学学習会」が総合区民センターで開かれました。

消費増税許さな〜学習会開く

大企業の派遣労働化、リストラ促進税、中小企業には営業破壊税、膨大な滞納、戦争準備税を説明。「社会保障のため」という口実が実際は法人税減収の穴埋めやムダな公共事業等に使われているこれまでの実態を批判。消費税増税を中止せよ!の世論と運動を日本列島津々浦々から直ちに行動を起こし、増税の実施をなんとしても食い止めようと訴えました。

主催者からは「江東から、増税されたらくらしが困る、消費税増税中止の一点で共同し、この9月、個人・団体と対話し署名、申入れ、請願、議員要請などあらゆる取りくみを見列島津々浦々で起こしていきましょう」と呼びかけました。

大企業の派遣労働化、リストラ促進税、中小企業には営業破壊税、膨大な滞納、戦争準備税を説明。「社会保障のため」という口実が実際は法人税減収の穴埋めやムダな公共事業等に使われているこれまでの実態を批判。消費税増税を中止せよ!の世論と運動を日本列島津々浦々から直ちに行動を起こし、増税の実施をなんとしても食い止めようと訴えました。

亀戸事件90周年追悼会・フィールドワーク

歴史に学び戦争とファシズムへの道を許さない!

9月8日、亀戸の赤門浄心寺で「亀戸事件犠牲者追悼会」が開かれました。主催者を代表しあいさつに立った東ひろたか追悼会実行委員長は「被災者救援に全力を上げていた川合義虎ら青年労働者を裁判もなく、その日のうちに、軍隊の手によって虐殺した。こんな理不尽なことはない」と告発、戦争とファシズムの道を二度と繰り返さないことを誓いました。

9月8日、亀戸の赤門浄心寺で「亀戸事件犠牲者追悼会」が開かれました。主催者を代表しあいさつに立った東ひろたか追悼会実行委員長は「被災者救援に全力を上げていた川合義虎ら青年労働者を裁判もなく、その日のうちに、軍隊の手によって虐殺した。こんな理不尽なことはない」と告発、戦争とファシズムの道を二度と繰り返さないことを誓いました。



追悼の挨拶をするあぜ上都議

あぜ上三和子都議は「創立以来91年間、日本の社会変革の事業に力を尽くしてきた先輩たちの活動に思いを寄せ、平和憲法を守り生かす、世界の国々対話と信頼を深められる日本、人が人として大切にされる日本を築くために頑張りたい」と決意を述べました。9月21日には、亀戸事件フィールドワークが行われ、亀戸警察署、赤門浄心寺、亀戸天神などゆかりの地をまわりました。

行事予定

- 10月5日(土) 「戦争を語り継ぐつどい」14時〜、産業会館
- 10月10日(木) 「江東健康友の会」
- 10月12日(土) 「江東革新懇30周年記念行事」18時30分〜、地下A・B会議室
- 10月19日(土) 「江東うたごえ交流会」13時〜、総合区民センター